



2020年8月13日

各 位



会社名 株式会社アイレックス
 代表者名 代表取締役社長 野川 浩道
 (JASDAQ・コード 6944)
 問合せ先 取締役業務管理部長 松家 一貴
 電話 03-3419-5111

業績予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月22日に公表した「2020年3月期決算短信」において未定としていた2021年3月期の業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	1,365	58	60	50	17.00
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	1,433	73	77	79	17.78

(2) 2021年3月期通期個別業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	3,000	250	255	240	81.61
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	2,973	243	248	237	71.52

2. 業績予想の理由

世界的規模での新型コロナウイルス感染症拡大による経済状況の悪化に伴い、当社事業も少なからず影響を受けています。そのような中、ITテクノロジー企業は景気回復の起爆剤としての役割を担っていく必要があり、当社も市場の変化にスピーディかつ柔軟に対応するためのマーケット戦略を再考することとしました。

すなわち、当事業年度から設置した人財開発部並びにキャリア相談室によって、社員一人ひとりが主体性を発揮できるキャリア形成を支援・促進し、専門性の深耕(スペシャリスト)、多才技能者(マルチタレント)、次世代リーダー(マネジメント)のそれぞれの育成を図ってまいります。

これにより、従来型の“時間×リソース”ビジネスから脱却し、今後の少子化・労働人口減少も見据え、働き方改革を進めながら生産性を高め、5Gに代表される通信システム開発並びに官公庁系を中心にクラウドを活用したデジタルトランスフォーメーション案件を拡大させ、新型コロナウイルス感染症の影響による投資計画縮退が少なく、今後3年間も堅調が見通せる「通信系システム開発事業」「官公庁、社会インフラ系システム開発事業」「ITインフラ設計・構築・運用事業」にリソースをシフトすることで、利益率向上による景気悪化への耐性を強化し、持続的安定経営を目指してまいります。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上